

FDA 便り～働くを楽しむ～ 第26号

2025年(令和7年)4月15日



特定非営利活動法人
FUTURE DREAM ACHIEVEMENT

『合同ボードゲームイベントを開催!』

2月8日(土)、FDA 川崎事業所にて移行・就労継続B型合同で、ボードゲームイベントを開催しました。当日は利用者さんだけではなく、外部のお客様や卒業生も参加されました。

坊主めくり・くるりんパニック・おばけキャッチ・ルミキューブ・マンハッタンなど、約20名で大きく盛り上がりました!



近いうちにまたみなさんに喜んでいただけるようなイベントを企画いたしますので、ぜひご参加ください。お会いできることを楽しみにしております。

※FDA 就労移行事業所では、コミュニケーション学習(SST)の一環として、カリキュラムに全員が楽しめる「ボードゲーム」を取り入れています。FDA 就労継続B型<川崎・溝の口>とあわせ、ぜひ一度ご見学ください。

<お問い合わせ>

お電話:044-874-6430

メールアドレス:info@fda.jp

S 社様に就職! ～卒業生体験記～

F.M さん(所属:就労移行支援<川崎>)

FDAに通うことになったのは、役所から紹介されたことがきっかけでした。通う前は、どんなところかと最初はとても緊張しました。

FDAに通い始めてからも、最初は周囲の人と話すことに緊張しましたが、趣味の共通点が多い人と話すことができるようになりました。FDAの活動で良かったことは、軽作業を頑張れた点です。



→(海外食品の検品作業)

就職が決まった時は、嬉しかったです。就職先では、清掃業務、備品補充、洗濯などを行っています。対人関係は、問題なく過ごせています。趣味の話をする人が何人かいます。



→(院内清掃)

今後の目標は、1人暮らしをすることです。

※FDA 通信内の情報の取り扱いにはご配慮いただき、転載等をご遠慮頂きますようお願い申し上げます。

【川崎・就労継続支援B型】

企業様実習から採用選考に進み、見事入社！

卒業生も就職している企業様にて 2 回の実習に入場、採用選考をクリアされ 4 月 1 日付にて入社されました！

今回はその様子をご紹介します。

<参加者>

利用者Kさん(特性:知的A2)

<作業内容>

オフィス清掃(社員食堂・ラウンジ等)、コーヒーマシンメンテナンス、箱折り等

<実習>

1 回目 2024 年 8 月(2 週間)

初日は緊張されていましたが、徐々に慣れ、全員のお名前を覚えることができました。

2 回目 2024 年 11 月(2 週間)

1 回目で行った作業はもちろん、コーヒーマシンの細かな部品名称も覚えることができました。

FDA 川崎 B 型に入所されて 4 年、遅刻早退なくしっかり通所されました。これからは職場への「定着支援」として引き続きフォローさせていただきます。

持ち前のすてきな笑顔でお仕事がんばってください！

.....

「最近入所された利用者さんの声」

A さん(所属:就労移行支援<川崎>)

2025 年 1 月から移行事業所に通い始め、約 3 ヶ月が経過しました。

移行事業所では、講義のほかボールペン作業やシール貼りなどを行なっています。自分が好きな作業は、ボールペンの組立作業です。理由は、より集中して取り組めるのと、手元を動かすのが好きだからです。

就職したら、自分が好きな鉄道やバス系のものを買ったり、鉄道やバスを撮りに西日本の方へ行きたいです。

「福祉実習生の受け入れを行いました」

FDA では定期的に社会福祉士・精神保健福祉士を目指す学生さんの実習の受け入れを行っております。

M.K.さん(日本福祉教育専門学校)

●FDA の雰囲気はどうでしたか？

とても温かく、利用者さん一人ひとりに寄り添った支援が行われていると感じました。職員の皆さんは常に利用者さんの気持ちを尊重しながら接しており、安心して自分らしくいられる環境が整っていました。また、利用者さん同士の交流も活発で、就労に向けてお互いに励まし合う姿が印象的でした。実習を通じて、ただ支援を提供するだけでなく、利用者の「できること」に目を向け、可能性を広げる関わりが大切だと実感しました。

●実習で学びになったことは何でしたか？

利用者さん個々の特性に応じた支援の重要性を学びました。特にアセスメントの過程では、強みや課題を的確に把握し、それを踏まえて支援計画を立てることの大切さを実感しました。また、職員の方々の対応を見て、寄り添う姿勢の大切さを改めて学びました。利用者さんが自信を持ち、就労へのステップを踏み出せるよう支援するには、単にスキルを教えるだけでなく、心理的なサポートや環境づくりも欠かせないことを実感しました。

●得た学びをこの先どのように活かしていきたいですか？

将来は福祉の現場で、一人ひとりに合った支援ができる社会福祉士を目指したいです。利用者さんの「働きたい」という気持ちを尊重しながら、その人に合ったサポートを提供することの重要性を学びました。今後も現場での経験を積みながら、利用者さんが自分の可能性を広げられるような支援ができるよう努力していきたいと思っています。